

ルーブリック評価とは

こうありたい、こうなってほしいという姿を教師と児童が共有する段階的評価である。

本校独自のルーブリック評価表を

- ・単元末思考力問題
- ・理科日記

のそれぞれに対して作成し、それぞれに活用している。

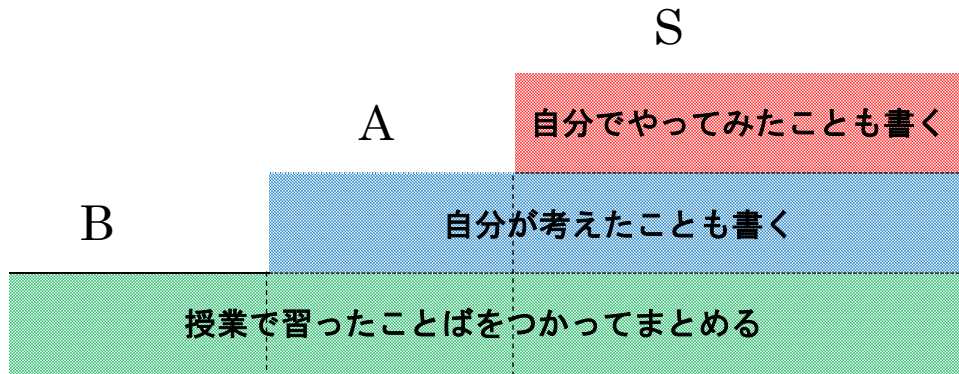
単元末思考力問題に対するルーブリック評価表（片地小学校版）

評価と点数	表現内容
S（十分満足） 3点	A（満足）の表現内容に加え、自分の生活経験や調べたこと（TV、インターネット、図書、科学館など）など、 <u>設問内容を超える内容なども</u> 表現されている。 *ただし、単元の学習内容や質問の内容によっては自分の生活経験をなど記述できないこともある。
A（満足） 2点	理科学語の意味や思考のキーワード（比較、関係付け、条件制御、推論）などを使って <u>適切に答えられている。</u> *ただし、単元の学習内容や質問の内容によっては思考のキーワードを用いることができないこともある。
B（おおむね良い） 1点	理科学語などを使って <u>おおむね答えられている。</u>
C（支援）	理科学語などを使っても意味が <u>伝わらない。</u>

理科日記に対するルーブリック評価表（片地小学校版）

理科ノートの児童配布用の裏には、下記に示す理科（絵）日記のルーブリック評価表を印刷し、評価の視覚化を図った。

理科（絵）日記は、**理科で習ったことばをつかってまとめる**ことから始まります。
じょうずにまとめられるようになった人は、
自分が考えたことや自分がやってみたことを書いてみよう。



わたし、りかちゃん。
理科で習ったことばをつかってまとめることがとくいです。

ぼく、かたじだよ。お家にかえって、
いろいろかんがえることが好きなんだ。

